

子ども用車椅子
これまでに
送り届けた国々

累計 **22** ヶ国
5,011 台

2015年12月現在

あなたの
サポートを
求めています

世界の肢体不自由の子どもたちにも動ける喜びを。



提供する

- 不要になった子ども用車いすを首都圏特別支援学校のPTAや養育センターのご協力で収集しています。
- 個人の方は送料ご負担で送ってください。

送り先 福生市加美平3-7-3 森田祐和 宛



会員になる

- 会員としての活動への参加をお待ちしています。
- 年会費は個人3,000円、法人は20,000円です。
- 入会希望者には入会申込書をお送りします。



寄付する

- 国内外の活動に経済的支援をお願いします。
- 海外へ送るには整備費・輸送費など1台約1万円かかります。

お振込先

郵便振替 口座記号番号: 00130-9-389966
多摩信用金庫 昭島支店 普通 3933782
海外に子ども用車椅子を送る会



活動する

- 会員でなくとも洗浄整備等の作業に参加できます。
- 毎月第3日曜日に例会で整備作業を行っています。
- 参加者の交流の場です。見学参加を歓迎します。

活動場所

多摩包装工業株式会社
羽村市緑ヶ丘5-10-5
(青梅線羽村駅から12分)

毎月第3日曜日
kaigaikurumaisu.org
詳細はHPで



ホームページ <http://kaigaikurumaisu.org/>

発行元 / 海外に子ども用車椅子を送る会 東京都福生市加美平3-7-13 TEL042-553-2342

海外に 子ども用 車椅子を送る会

活動
レポート
2015年12月 第9号



ベトナム

昨年に引き続いて ベトナムへ寄贈

2015年11月
181台

“次はいつ?”とさらなる寄贈も要望されました



2015年11月18日にベトナム、タイビン省ドンファン県人民公会堂で、タイビン省人民会議副議長、ドンファン県人民委員会副委員長、日本大使館公使を始め、約80名が参加して贈呈式がとりおこなわれました。

今回の訪問は初めての「子どもの姿を見ない」贈呈式となりました。理由は、贈呈式会場の人民公会堂はすり鉢状になっており、ステージが一番低い構造になっていて足の不自由な子ども達の行動に危険を伴うので、安全のため子ども達の出席を取りやめ、家族の代表が車椅子を受け取りにきていました。

贈呈式後、来賓として出席したタイビン省人民会議副議長から「次はいつ車椅子を送ってくれるのか」と真顔で聞かれ、すぐにでも何台でも欲しいと言われました。

赤十字の資料によると当会が11年間に22か国に送った車椅子の総数約5000台と同様の数がハノイを中心とした約10省で現在必要とされているのが現実です。



パラグアイ

パラグアイ共和国から 感謝の言葉

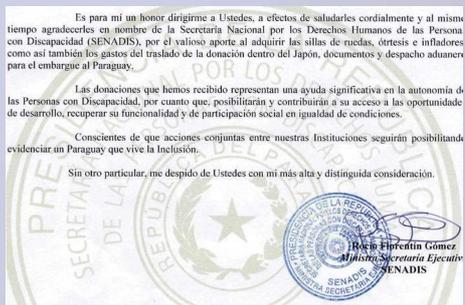
2015年3月 80台

昨年10月に船積みをした車椅子80台が今年3月に地球の裏側南米パラグアイの子ども達に配布され、その模様は現地の新聞で大きく報道されました。

このプロジェクトは昭島中央ロータリクラブ、株式会社商船三井と共同で実施され、パラグアイ共和国大統領府の障害者人権保護庁長官から感謝状(写真)を受け取りました。また、トヨタシ・ナオユキ在日本特命全権大使や8月に来日したパラグアイ共和国外務大臣からも直接感謝の意を表されました。

1937年に初めての日本人の移住が始まって以来日本とは良好な友好関係が続いており、東日本大震災の際には、「100万丁豆腐プロジェクト」として100万丁分の原料の大豆、製造加工費を日本へ支援してくれました。

当会は2008年から4回、合計342台を寄贈しています。



障害者人権保護庁長官から感謝状



公郵でのトヨタシ・ナオユキ大使と令夫人

